



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2024年3月26日 No.754

経営側は一方的な主張を繰り返すのみで不誠実である！ 申第24号「新賃金・夏季手当の同時議論に関する申し入れ」を提出

東日本ユニオンは3月25日、申第24号「新賃金・夏季手当の同時議論に関する申し入れ」を経営側に提出しました。

★同時議論に対する組合発の総文書に回答を示さない理由を明らかにすること！

- ・社員が疑問に感じている以下2点の主張を記した「総文書」を2度も経営側に提出しましたが、総文書に（書面）回答せず、一方的に同時議論を繰り返し求めてきました。

○労働組合や社員が求めているのは、賃金や期末手当の議論時期ではなく、納得のいく支給額である

○近年の賃金改定や夏季手当の支給実績など踏まえると賃金支給の抑え込み手法となることが予想される

なぜ、回答しないのか？それとも書面では回答できないのか？！

★新賃金と夏季手当の同時議論を求める理由を明らかにすること！

- ・経営側は新賃金と夏季手当を同時議論する目的に「年収ベースでの見通し」や「計画的な生活設計が立てられる」など、社員に利点があることをあげていますが、経営側視点による「同時議論」を行う理由は一切明らかにしていません。

経営側視点による同時議論を求める理由が語られていません！

★夏季手当について東日本ユニオンは経営側より「見解」だけ示されているが、社員宛に「各労働組合へ回答した」と虚偽のメッセージを発した理由を明らかにすること！

- ・東日本ユニオンは、現時点で「令和6年度夏季手当」の要求をしていないことから、経営側より「回答」は受けていません。「各労働組合へ回答した」とする社員へのメッセージは誤りです。したがって、訂正と共に虚偽のメッセージを発した理由を求めていきます。

社員に虚偽の周知を行うことは認められません！

★新賃金と夏季手当の同時議論は恒久的なのか明らかにすること！

- ・経営側は「今後は新賃金と夏季手当を同時に検討する」としていますが、議論時期について東日本ユニオンは「これまでと変わらず、都度、判断していく」との主張を繰り返し述べてきました。

経営側が主張し続ける「今後」とは未来永劫なのか？！